



# ぼらんていあ通信

12月号  
通巻 No.493

発行 / NPO法人 相模原ボランティア協会 2022年12月20日  
連絡所 〒252-0236 相模原市中央区富士見 6-1-20 あじさい会館・中央ボランティアセンター内  
TEL/FAX: 042-759-7982 Eメール: [sagamiva@feel.ocn.ne.jp](mailto:sagamiva@feel.ocn.ne.jp) HPアドレス: <https://sagamiva.info/>

## ほかほかふれあいフェスタ2022の1報告

3年ぶりに開催されました「ほかほかふれあいフェスタ2022」の様子を、実行委員長鈴木さんにごうかがいました。

NPO法人れんぎょう 鈴木秀美

ほかほかふれあいフェスタは障がい理解と障がい者を支援するボランティア活動の意義の理解を深め、誰もが住みやすい共生社会実現を目指して市内の障がい者団体、支援者の団体・機関が協働して開催するイベントです。

ほかほかふれあいフェスタは秋と冬に開催されますが、秋のイベントに関して最近3年は台風の影響や新型コロナウイルスの感染拡大のために開催中止となっていました。本年はコロナウイルスの感染状況も比較的落ち着いて来たこと、参加団体の希望も考慮して開催の運びとなりました。

秋のほかほかふれあいフェスタ2022は10月15日(あじさい会館)と16日(フェリスさがみはら前広場)で開催されました。あじさい会館のロビーでは相模原養護学校と相模原中央支援学校の生徒たちの作品が展示されました。

6階のボランティア活動室では要約筆記サークル「もみじ」の活動紹介、「さがみ緑風園」による車椅子体験コーナー、精神保健センター利用者の作品やパラスポーツの写真展示が実施されました。



1階のホールでは「スピッツエンパフォーマンス」のチャリティーディング、「花言葉」の手話ダンス、「S. N. D. F」のヒップホップダンスの素晴らしいパフォーマンスが披露されました。

フェリスさがみはら前広場では、「れんぎょう」の加盟団体のパネル展示、「けやきの会」によるけん玉遊び、「相模原グリーンライオンズクラブ」によるお菓子の提供、「相模原やまびこ会」と「福祉事業所のびやか」によるバザー、手工芸品等の販売が行われました。

また、「銀河3世バンド」、「チョップステイクス」、「障害者とダンスを楽しむ会」、「よさこいソーラン絆」、「よさこいソーラン相模原合同チーム」、「東林間連」、「大道芸人TAKUMI」がバンド演奏、車いすダンス、よさこいソーラン、阿波踊り、大道芸を披露して来場者から盛んな拍手をもらっていました。子ども達は広場に設置された「ミニ新幹線」に乗り大喜びでした。

冬のほかほかふれあいフェスタは障害者週間(12月3日～12月9日)の近辺で開催されます。福祉関係の資料を通行人に配布し、バンド演奏、車いすダンス、よさこいソーランのパフォーマンスを見ていただくため、11月26日に相模原野駅北口サンデッキで開催する予定でしたが、当日の雨天のため残念ながら中止となりました。

### 歴史編

#### ほかほかふれあいフェスタの歴史

現在「ほかほかふれあいフェスタ」として行われているこの催しも、ルーツをたどればいくつかの行事が元。

1つは相模原ボランティア協会が設立される前年の1980年11月に陽光園で行った「ボランティアの集い」である。これは協会の設立に向け準備が進められる中、互いに交流を深めようという目的で開催され、障がいのある皆さんも参加しパーペキュアを中心に楽しんだ。これは翌年の1982年「ふれあいまつり's82」へとなっていた。

2つ目は、障がいのある子どもたちのために保護者の皆さんが中心となって1985年に始めた「ハンディフェスティバル」で、協会はこの実施に協力した。この催しは、障害者団体連絡協議会(NPO法人れんぎょう)の主な行事として、夏休みの最後を飾る盆踊りを中心として行われる行事となった。この催しが1990年に統合され、名称も「さがみはらふれあいフェスティバル」に改称、さらに2002年から冬の「ほかほかフェスタ」一障害者の日のまつり」と、夏の「さがみはらふれあいフェスティバル」とが統合され、今の「ほかほかふれあいフェスタ」の形となって開催されている。



報告

傾聴情報交換会



去る11月29日、ボランティア活動室にて傾聴活動者の情報交換会が行われました。出席者は17名、その内新しく活動を始めた方々は3名のみの参加でした。

まず最初に西本傾聴委員長よりボランティア協会の中で傾聴の活動がどういった仕組みの中に入っているか説明されました。続いて高橋会長の挨拶です。コロナなどで交換会をなかなか持つ事が出来ずやっとなんか出来ませんでした。今日は傾聴とは何かなど勉強して欲しいと思いますと話されました。

次に西本委員長が会の進め方の説明、今回は新人を対象に話を進めていこうと思っ

ていると話され、会が始まりました。

渡邊委員が傾聴活動のしおりを資料に傾聴ボランティアに関するボランティアの姿勢（基本ルール）

の姿勢（基本ルール）ボランティア協会の目指す方向、活動するにあたっての約束ことについて（沢山あゆみ）

活動にあたっての基本ルール

訪問するにあたっての方法、決め事、手続きなどについて訪問活動前に傾聴ボランティア心得の力を確認する

な活動に関する注意事項等説明されました。

高橋会長からは資料をもとに傾聴について気をつけたい事、してはならない事を（11項目）話されました。

西本委員長から保険や活動交通費についての説明があった後に、自己紹介。新人の方は3人とともに体験（見学）されていて利用者さんが良く話され楽しかったことが出来たとの感想でした。

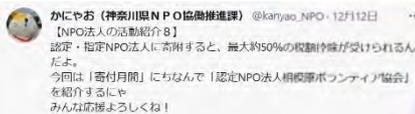
既に活動している方は、体験を通して感じた事、気付いた事を話されました。認知症の方が何度も何度も同じことを話されるが受け止めていると話された時、利用者さんが何度も話されるという事は心が安定している印なので会長に聞いていたとの助言もありその言葉が心に刺さりました。又いろいろ経験豊富な利用者さんに教えられることが多々あるとの感想もありました。

新しい方の担当のやり繰りをし、何とか決まったところで閉会となりました。

(右側)



かにゃおのSNSで協会活動紹介！



sagamiva.info

#寄付月間 #NPO



Twitter



Facebook

寄付月間にちなみ神奈川県HP、県庁舎でのポスター展示などで当協会が紹介されましたが、かにゃおのSNS（FacebookやTwitterなど）でも、活動の内容が掲載されました。

Facebook : <https://www.facebook.com/npokyodo.kanagawa>

Twitter : [https://twitter.com/kanyao\\_NPO](https://twitter.com/kanyao_NPO)

ぜひ、ご覧になって「いいね！」にクリックをお願いします。

1月の記念日は？

小倉義男

1月26日、美容記念日です。

明治・大正・昭和・平成の4つの時代を通して、見かけだけではなく心も体も美しくなることが美容の本来の意味であると、日本で最初に提唱した美容家メイ牛山の誕生日にちなむ。

健康食という概念をつくり、健康と美容の両立の概念を広めた。女性が楽しく美しくいられる社会は平和な社会であるとの美容哲学と平和理論に基づく。

食欲をとるか美容をとるか、悩ましいところですね。(o^^o) 小倉画



# ボランティア活動グループ訪問記

## 学生服リユースショップ わんぱく相模原店 さん

12月6日(火)午前

JR相模原駅前がみ  
夢大通りの矢部駅寄りの



の裏手通りにピンク色ののぼり旗がすべ目じきま  
した。とても分かる所にお店があります。作業  
中の堀田優子さんと藤谷智子さんが快く迎えてくだ  
さいました。二人とも小学生や大学生の子供さんをお  
持ちのお母さんだそうです。この場所は来春2月の開  
店に向けて準備を始めたいばかりです。

わんぱくは学生服のリユースを専門として始  
められたお店です。来春の新学期に合わせてすべての  
学校、幼稚園、小学校、中学校、高校の子供たちに等  
しく制服が着られるように願って、今年11月から  
準備、活動を始めました。すでに店内にはクリーニング  
を終えて学校名やサイズなどが書き込まれたタグ



左が藤谷さん、右が堀田さん

も付いて綺麗に整えられ  
た制服が沢山ハンガラー  
ックに掛かっています。  
◆SDGs回収するの  
でしようか。

ポスターを貼った大き  
な段ボール箱を置かせて  
もらっています。現在はあ  
じさい会館1階入口付近  
や市内のクリーニング店

などで約20ヶ所に設置されています。詳しくはブログ  
をご覧ください。順次置き場所を増やしていきたいと  
思っています。一番は品物を集めることです。使わな  
くなつて5年以内が目安になります。古い物は今の物  
とデザインが変わっている場合もあり、利用できない  
ことになってしまいます。シャツ、ベスト、ネクタイ、  
リボンなどの付属品も一緒にお願います。クリーニ  
ングしたものは大歓迎ですがこちらでも洗って整え  
ます。修繕はできなくなっても結構です。ボタンなどあ  
れば一緒に付けて出してください。

回収ボックスへの持込みの際は、学校名やサイズな  
どを備え付けの用紙に記入していただくことより助か  
ります。他にもフンドセルやピアノ、リコーダーな  
どの学用品も大歓迎です。



ポスターが貼られた  
回収ボックス

◆回収した品物がわんぱくに届く繋がるのでしょ  
うか。

少し複雑なやり方になりますが、回収した品物を寄  
付金として販売する値段をきめます。その金額を子  
供食堂や子供支援団体活動に使われる未来応援基金  
や子供若者未来支援に寄付する仕組みです。

◆私たちがSDGsのNo.1貧困をなくす、No.10不平  
等を是正する、No.12しる責任つかう責任、No.17パ

ートナーシップで目標達成に該当しています。やりが  
いはありますが大変な仕事だとも思っています。皆さ  
んと一緒に相模原のSDGsパートナーを進めたいで  
す。

◆今後に向けて皆様へのお願いは。

あちこちに置かせていただいた回収ボックスに先  
ずは品物を入れていただくことです。そこから私たち  
の作業が始まります。皆様のやさしいお気持ちで回収  
ボックスに入れてください。是非ご協力をお願いしま  
す。お待ちしております。

おふたりの熱い想いを感じました。皆様のご協力を  
待っています。  
(小山 植野)



\*さくらや相模原店  
〒252-0231  
相模原市中央区相模原3-3-11  
Dinner Box'80ビル1F  
電話 070-2352-0432  
堀田・藤谷  
アドレス sakuraya.ans@gmail.com  
ブログURL  
<https://www.seifuku-sakuraya.com/blog/sagamihara/>



理事會報告



12月10日(土) 定例理事會(理事7名出席)

1、報告

〈広報委員会〉

・ぼら通1月号は1月23日印刷、24日発送予定。

〈HC委員会〉

・新規加入者受入について情報共有。

・車までの支援のあり方や利用対象者、関係機関との連携についての理解、説明を運転者利用者、双方にもおこなう必要性がある。このように伝えるか今後検討をしよう。

〈事務局委員会〉

・事務局員の名新しく加入。HCの需給調整、協会庶務をつかさどる役割担当。

・HCは中央区は利用者が多いが南区は少ないので今後掘り起こしが必要。

・HCの運行指示書の書式を今後はターターベース化としたいが、そのアップデートが課題。

〈講座検討委員会〉

・3月講座のチラシ案はほぼ決定、来年度の講座内容を報告、理事會で承認をした。

〈傾聴委員会〉

・交流会を実施。40人の活動人数のうち14人参加  
新人が少なかった。集まりやすい手法を考へる必要あり。

〈DVD制作実行委員会〉

・個人インタビューを作成中。

・協会リーフレットを新規作成する。

その他

・地域活動マッチング相談会ほか各団体の質問交換会

2、電議事項

に理事が出席予定。

・総会までのスケジュールについて

・新春ボウリング大会

例年2月開催だが例年参加されている団体等に参加の可能性を確認したところ、コロナ禍であり3月頃まで対外的な行事は参加を見合わせているとのこと。そのようなことから、2022年の新春ボウリング大会は中止とする。時期をずらして明年6月に開催する。

・HC利用委員の会費未納者の取り扱いについて。  
HC11名車の今後について。

【次回理事會 2023年1月14日(土)10時より】



相模原ボランティア協会 1月の予定

日(曜)	時間	内容
10(火)	13:00~	広報委員会ぼら通部会
11(水)	10:00~	傾聴委員会
14(土)	10:00~	定例理事會
15(日)	10:00~	HC委員会
21(土)	13:00~	事務局委員会
23(月)	13:00~	ぼら通1月号印刷
	14:00~	DVD制作実行委員会
24(火)	13:00~	ぼら通1月号発行

あら、ほんと？



イヌがペットに選ばれる訳

イヌと人間は何千年も前から近い関係を築いてきた。その秘密は、豊かな表情がつくれる筋肉にあったようだ。陸生哺乳類は、目と口の周りにある小さな筋肉を使ってさまざまな表情がつくれる。米デューク大学の研究によれば、イヌの表情筋はオオカミより人間に近いという。イヌは人間のような生き生きとした表情ができるが、オオカミにはできないようだ。こうしたイヌの豊かな表情は、長年にわたる品種改良の結果であると考えられるという。じっと目を見つめてくるイヌが交配に選ばれたのは、当然のことかもしれない。

\*ナショナル ジオグラフィック特集より

お知らせ

新春ボウリング大会は中止

ボウリング大会実行委員

羽田 彌 はねだ ひろし

今年度の新春ボウリング大会は2月18日(土)開催予定で準備を進めていましたが、新型コロナウイルスの感染が再拡大しつつあり第八波襲来とも言われています。そのため中止を得ず中止させていただくことになりました。年度を改めて明年6月に開催することを検討しています。3年続けての開催中止となり、楽しみにしていた方には大変残念な結果となりました。

事務局庶務のお仕事って？



協会会員の皆さんがスムーズに活動できるよう「事務局」があります。その一端を担っていただいている事務局庶務担当の守屋和郎に、事務内容などを伺いました。

ボニ協 事務局庶務

事務局サポーター 守屋和郎

もりやかずお

事務局庶務とは？

税制の優遇措置がある認定NPO法人になって10年、来年2月には2回目の期間延長申請をするという準備が進んでいます。

認定NPO法人の認証を受ける手伝いをしていることで事務局に携わって10年以上になり、感慨深いものがあります。

ボランティア協会の事務局には、HC運行の申し込みの受付から運行までの事務を担うセクションと、NPO法人として必要な事務を担うセクションがあり、後者を通称庶務と呼んでいます。

現在は事務局委員長の下、事務局員1名とボランティアの事務局サポーター2名で担当しています。HCの運行調整セクションは交代で毎日1名は事務局に出っていますが、庶務は必要な時に出席して事務処理をしなければいけません。名前が勤務する時もあるかもしれませんが来ない時もあります。また、必要であれば2日以上続けて勤務する日もあります。

NPO法人として必要な事務

NPO法人には青色申告法人に準じた会計処理のほか毎年決算や事業報告の提出が求められています。

会計処理及び決算

毎日の現金出納事務はHC運行調整セクションで担当していますが、毎日の伝票を入力し毎月末の会計報告を理事会に提出。また4月には1年分の決算書を作成。

相模原市(所管庁)への事業報告・決算報告 事業年度終了後3か月以内に決算や事業報告の提出。

ホームページへの貸借対照表掲載(掲載は情報部に依頼)

役員改選の場合は相模原市(所管庁)へ役員改選届の提出

役員改選年(2年毎)には法務局に会長の兼任または変更登記

寄付者名簿の作成 認定NPO法人の期間延長申請(5年毎)

ボニ協全体にまたがる事務

その他定款変更の認証申請や変更事項の届け出等

- ・総会議案書作成補助他総会準備
  - ・総会議事録、理事会及び委員会会議事録の管理
  - ・正会員管理
  - ・委員会交通費の計算と支給(上期・下期)
  - ・事務局活動費・交通費の計算(毎月)
  - ・源泉徴収、年末調整事務
  - ・寄付金受領証明書の作成・送付(1月)
- その他法人市民税の減免申請、社協助成金の申請やその結果の事業報告等

委員会等から依頼された事務

- ・ぼり通最終校正と印刷用原紙作成(毎月)
- ・ぼり通宛名フベルの作成と封筒の準備(毎月)
- ・福祉有償運送の国交省への変更届

- ・福祉有償運送登録更新申請(3年毎)
- ・HC利用会員名簿のメンテナンス

・傾聴活動交通費計算及び支給(上期・下期) 主なものを列挙してみました。毎日のルーティンものではなく、短い周期のものも月一回、ほんとは年一回の作業になり、長いものだと5年に一回というものもあります。そのため前回(前年)の結果を参考にしようというものが多く、書類やデータの保存は極めて重要で、判りやすい保存に努めています。

\*今年度から会員として活動いただいている橋本千香子さん、12月からは庶務の担当も担っていただくことになりました。橋本さんの詳しい紹介は来月号に掲載します。お楽しみで。



募集中

ボランティア協会 事務局員 募集

協会の事務局員(ハンディキャブ運行調整などの事務・庶務)として活動してみませんか?

活動場所: あじさい連絡所

あじさい会館2階中央ボランティアセンター内

活動内容: 週1~2日、1日5時間程度

- ※ハンディキャブ運行調整などの事務
- ※特定非営利活動法人の事務処理、運営業務の事務処理など、簡単なパソコン作業
- ※些少ですが活動費補助制度があります。

連絡・問い合わせ先: 協会事務局 042-759-7982



**南保健福祉センターにお寄りの際は、  
「おうちでいるカフェ」掲示板を見てみてください！**



南保健福祉センターの1階ロビー（相模原市社会福祉協議会南区事務所の前のスペース）には、南ボランティアセンターが設置している掲示板「おうちでいるカフェ」があります。いるかバンクに登録いただいているボランティアの皆さんが作った俳句やアート、ちょっと笑えるエピソード、撮影した季節の写真などを展示する掲示板で、コロナ禍の取組みとして開始してから約2年、ボランティアの皆さんの自由な表現の場になっています。

バラエティー豊かで、ボランティアの新たな一面を感じていただけますので、ぜひ一度見に来てください。

**場所：南区相模大野6-22-1 南保健福祉センター1階**

問合せ：南ボランティアセンター  
電話：042-765-7085  
メール：smvc@sagamiharashishakyo.or.jp



連絡・問い合わせ先

相模原ボランティア協会あじさい連絡所：電話 042(759)7982  
相模原市社協 南ボランティアセンター：電話 042(765)7085



ご寄付をありがとうございました。

皆さまのご寄付は当協会の運営に有効かつ大切にに使わせていただきます。

<11月の寄付者>

10名の方からご寄付を頂きました。

<11月の寄付金>

77,200円でした。



山口尚美画

《今月のイラスト》  
きつとあなたにも  
分かる日が来るわよ》

**編集後記**

サッカーワールドカップ、体格の良い外国人の選手たちが絶対には負けないぞ、勝つぞと闘志むき出しに、攻める方も守る方も相手を突き飛ばす必死の試合展開にくぎ付けにされ、と迫力に圧倒されながら終了すると、ああ疲れた、と感じるほど夢中で観戦。4年後また楽しめるかな、とふと現実に戻された！  
(山)

事務局から

**年末年始のお休み**

事務局は12月29日(木)から1月3日(火)までお休みとなります。  
新年は1月4日(水)から業務を開始します。  
よろしくお祈りします。

